



倉橋町における野生サルによる人身事故について

最近、市内の各地で野生サルが目撃されておりますが、倉橋町において、子供がサルに攻撃され、けがをした事故が2件発生しましたので、お知らせします。

1 事故の概要

(1) 1件目

日時 10月7日(土) 午前11時30分頃

場所 倉橋町字脇田の農業用作業舎内

被害者 幼児1名(4歳)

状況 農業用作業舎内に幼児が一人でいた際にサルが同作業舎内に入ってきて、幼児の右膝下ふくらはぎに噛みつきました。被害者の大声で母親が駆けつけ、サルは逃げたとのことです。なお、幼児のケガは軽傷です。

(2) 2件目

日時 10月30日(月) 午後5時10分頃

場所 倉橋町字宇和木の路上

被害者 児童1名(小学2年生)

状況 児童と弟が帰宅中にサルに遭遇し、児童が声を上げて逃げたところ、サルが追い掛けてきて児童の足をつかみ、倒れた児童の脇腹を引っ掻き、腰を噛みました。なお、児童は病院に行き、治療を受けたとのことです。

2 事故への対応

1件目については、教育委員会を通じて市内の全小・中学校及び呉高等学校に注意喚起を行いました。また、有害鳥獣捕獲班により事故現場付近に罠を2か所設置しました。

2件目については、教育委員会において同様に注意を促しました。

また、10月31日に宇和木地区住民、本浦駐在所、倉橋小学校校長、倉橋市民センター職員、捕獲班及び農林水産課職員で現地の確認を行い、今後の対策として、地区住民による下校時の見守りと、警察によるパトロールの強化を行っていくことを確認しました。

今後、事故現場付近への罠の設置について検討しています。

